

近畿地方整備局
資料配布

配布日時	平成25年2月21日 14時00分
------	----------------------

件名	<b>平成25年度テーマは「関西の食文化」</b> <b>～「はなやか関西～文化首都年～2013」～</b>
----	---

概要	<p>○ 「はなやか関西～文化首都年～」は、文化の集積を活かし、関西各地の地域資源を特定のテーマによって広域的に連携させ、関西を文化首都圏として発展させるための取組です。</p> <p>○ 平成25年度の取組について、「関西のブランド力向上推進有識者委員会」（座長：橋爪紳也大阪府立大学教授）での審議等の結果、「<b>関西の食文化</b>」をテーマとして実施していくことが決定しました。</p> <p>○ 今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月18日～ 「関西の食文化」に関連した地域資源を活用した3月8日まで 取組を行っている団体に関西各地から募集</li> <li>・3月上旬 上記有識者委員会による取組参加団体の選定</li> <li>・4月～ これら取組の連携・情報発信・イベント実施等を通じ、「関西の食文化」を「関西ブランド」として国内外へ発信する取組を実施</li> </ul> <p>※本施策は、近畿圏広域地方計画「No.1 文化首都圏プロジェクト」の取組に該当します。</p>
----	---

取り扱い	—
------	---

配布場所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 福井県政記者クラブ 滋賀県政記者クラブ 京都府政記者クラブ 大阪府政記者会 兵庫県政記者クラブ 奈良県政・経済記者クラブ 和歌山県政記者クラブ 三重県政記者クラブ 徳島県政記者クラブ 鳥取県政記者会 京都市政記者クラブ 大阪市政記者クラブ 堺市政記者クラブ 神戸市政記者クラブ
	神戸海運記者クラブ、神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ 所属で資料が必要な方は、近畿地方整備局記者クラブ西村(06-6942-1141内線2811)にお問い合わせ願います。

問い合わせ先	近畿地方整備局 近畿圏広域地方計画推進室 建政部 計画管理課長 吉田 元紀(6121) 課長補佐 九鬼 正至(6123) 電話 06-6942-1141 (代) 06-6942-1056 (直通)
--------	---

# 「はなやか関西～文化首都年～2013」 テーマの決定について

平成25年2月21日  
近畿圏広域地方計画推進室

関西の特徴である文化の集積を活かし、関西各地の地域資源を特定のテーマによって広域的に連携させ、関西の文化首都圏への発展を目的とする取組である「はなやか関西～文化首都年～」については、平成25年度の実施に向けて、関係機関で構成される「関西のブランド力向上推進のための準備会」で検討を進めています（別紙1参照）。

今般、関西各地の地域資源を広域的に連携させる競争力ある統一テーマを選定するため、「関西のブランド力向上推進有識者委員会」（別紙2参照）において審議等を行い、以下のとおりテーマが決定されました。

## ■決定テーマ 「関西の食文化」

「日本食文化」が国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界無形文化遺産に登録提案されている今、改めて日本の食文化の原点を考える必要があります。

関西各地には、古事記・日本書紀・万葉集・枕草子・源氏物語らに代表される古典や歴史書にも登場するような、日本食文化の原点ともいえる古くからの食材や伝承・伝統料理が今も数多く存在します。

このように、日本食文化のなかでも関西に起源のあるもの・ゆかりの深いものについてその歴史を紐解き、日本人の美意識や生活習慣にも影響を及ぼしてきた『日本食文化の源泉としての関西の魅力』を、国内はもちろんのこと国外に向けても発信していくこととしました。

日本食文化のうち関西に起源を持つ又はゆかりの深いものとして、①各年代の代表的料理・習俗変化等②（昆布）だし文化③発酵文化④小麦粉文化⑤酒の5つのジャンルを取り上げ、これに関係する取組について、故事来歴を含めて発信します。

今後は、関西各地からこの「関西の食文化」に関連した地域資源の活用に関する取組の募集を行い、3月上旬を目途に、上記有識者委員会による取組参加団体の選定を行う予定です。

平成25年度は、これら取組の連携・情報発信・イベント実施等を通じて、関西が一丸となって、『日本食文化の源泉としての関西の魅力』を、起源である古典や史実等を積極的に紹介しながら国内外へ発信する取組を予定しています（別紙3「関西の食文化」に関する取組（例）参照）。

■ 関西のブランド力向上推進のための準備会 (H22.7.9設立)

近畿圏広域地方計画協議会幹事会の下部組織

■ 構成機関名一覧

- < 府 県 > 福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、徳島県、鳥取県
- < 指定都市 > 京都市、大阪市、堺市、神戸市
- < 経済団体等 > (公社)関西経済連合会、大阪商工会議所、関西広域機構、(社)関西経済同友会、京都商工会議所、堺商工会議所、神戸商工会議所
- < 国の地方支分部局 > 農林水産省近畿農政局、経済産業省近畿経済産業局、国土交通省近畿運輸局、環境省近畿地方環境事務所、国土交通省近畿地方整備局

進め方全般の検討

- 「はなやか関西～文化首都年～」テーマ・コア事業・実施主体・実施内容の募集(公募)
- PR戦略等の検討

実施主体との調整  
(必要に応じて)テーマに適合した  
関西各地の取組の募集

- 実施主体との調整
- (必要に応じて)テーマに適合した取組の公募
- 関西各地で収集された取組についてテーマ適合性や支援可能性の観点で調査・分析

PRの実施

- 「はなやか関西～文化首都年～」のテーマ等
- 具体的な取組

■ 関西のブランド力向上推進有識者委員会 (H22.9.2組成)

■ 有識者委員会委員

- 河内 厚郎 神戸夙川学院大学教授
  - ◎橋爪 紳也 大阪府立大学特別教授
  - 坂上 英彦 京都嵯峨芸術大学教授
  - 堀井 良殷 (財)大阪21世紀協会 理事長
  - 千田 稔 奈良県立図書情報館館長
  - 村田 省三 アートコーポレーション(株) 専務取締役
- (五十音順)◎：座長

有識者による検討

- 「はなやか関西～文化首都年～」のテーマ(+コア事業・実施主体・実施内容)の審査・決定
- (必要に応じて)「はなやか関西～文化首都年～」の関西各地の取組の選定
- 準備会への助言
- 実施主体への助言

■ はなやか関西～文化首都年～2013実施主体(実行委員会)

具体的な取組の検討・実施準備

- コア事業(自治体・民間の大規模イベントを想定)の実施に係る検討
- 実施主体としての応募(テーマ・コア事業・実施内容)

事業の実施

- コア事業の実施(準備会と連携して実施)
- 「はなやか関西」ロゴマークの使用
- ポスター・公式ガイドブック等の作成
- 取組間の連携戦略の検討
- 関西各地での連携プログラムの立案

等

「はなやか関西～文化首都年～」として国内外向け情報発信やイベントを実施

関西のブランド力向上推進有識者委員会委員名簿

かわうち 河内	あつろう 厚郎	神戸夙川学院大学教授
さかがみ 坂上	ひでひこ 英彦	京都嵯峨芸術大学教授
せんだ 千田	みのる 稔	奈良県立図書情報館館長
はしづめ 橋爪	しんや 紳也	大阪府立大学特別教授
ほりい 堀井	よしたね 良殷	(公財)関西・大阪21世紀協会理事長
むらた 村田	しやうぞう 省三	アートコーポレーション(株)専務取締役

(五十音順・敬称略)

■後世に継承・活用・創造したい「本物」

テーマは、「関西の食文化」です。

■「本物」が有する競争力の高いテーマ性

「日本食文化」が国連教育科学文化機関(ユネスコ)の世界無形文化遺産に登録提案されている今、改めて日本の食文化の原点を考える必要があります。

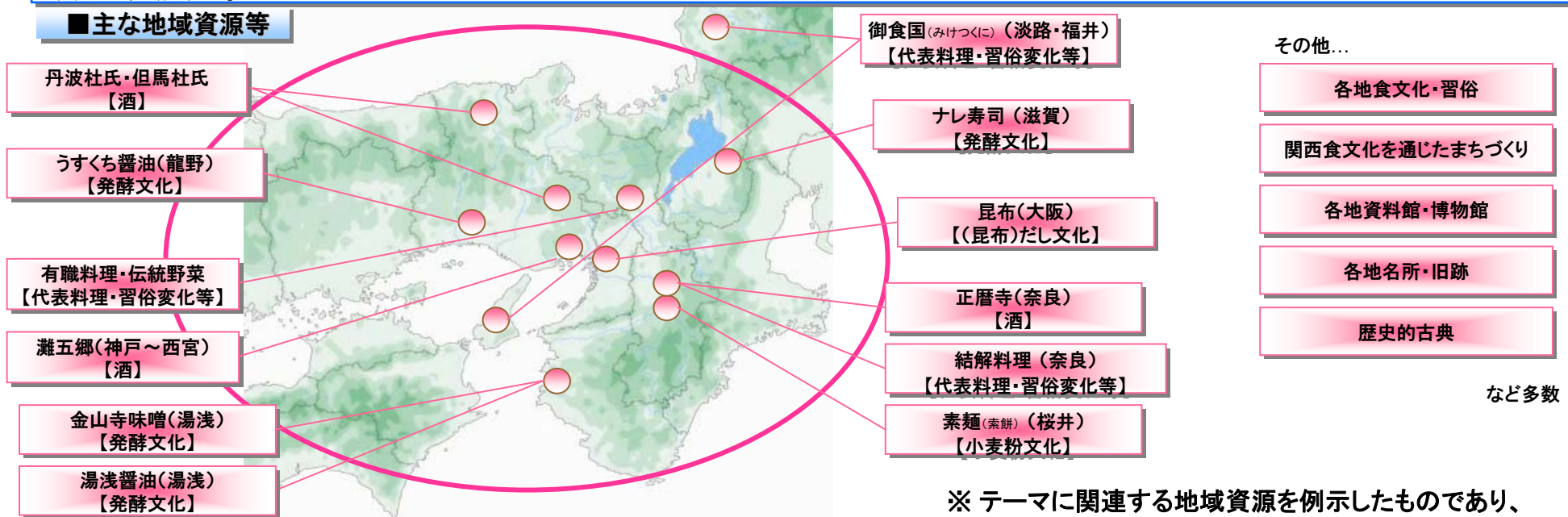
関西各地には、古事記・日本書紀・万葉集・枕草子・源氏物語らに代表される古典や歴史書にも登場するような、日本食文化の原点ともいえる古くからの食材や伝承・伝統料理が今も数多く存在します。このように、日本食文化のなかでも関西に起源のあるもの・ゆかりの深いものについてその歴史を紐解き、日本人の美意識や生活習慣にも影響を及ぼしてきた『日本食文化の源泉としての関西の魅力』を、国内はもちろんのこと国外に向けても発信していくこととしました。

日本食文化のうち関西に起源を持つ又はゆかりの深いものとして、①各年代の代表的料理・習俗変化等②(昆布)だし文化③発酵文化④小麦粉文化⑤酒の5つのジャンルを取り上げ、これに関係する取組について、故事来歴を含めて発信します。

■「本物」を核にした取り組みのストーリー

①関西の食文化を歴史の面から紐解き、今も残る各地の食材や伝承・伝統料理の紹介や、②それらに関連する地域の取組をネットワーク化することによりまちづくりを進め、③起源である古典や史実等をも含めた一体的なPRを行い、日本食文化の源泉としての関西の魅力を国内外に向けて発信する。

■主な地域資源等



※ テーマに関連する地域資源を例示したものであり、実際に展開する取組は、今後募集するものです。